

## 飯塚市史 構成 中巻

### 第四編 近世

#### 概説

#### 第一章 近世社会の幕開けと嘉麻・穂波

##### 第一節 九州平定と小早川時代

##### 第二節 黒田氏による筑前支配

##### 第三節 高取焼

- 一 西国における国焼茶陶の出現
- 二 八山（高取八蔵）の渡来と高取焼の開窯
- 三 高取焼系諸窯の変遷
- 四 白旗山窯跡の特質
- 五 高取家墓所出土の遺物
- 六 高取焼の流通

#### 第二章 幕藩体制の展開と嘉麻・穂波郡

##### 第一節 嘉麻・穂波郡の農村

- 一 我が郷土
- 二 藩の行政政策
- 三 郡方仕組
- 四 嘉麻・穂波郡の郡方支配

##### 第二節 貢租と夫役

- 一 検地
- 二 名寄帳
- 三 貢租
- 四 軸帳
- 五 徳割帳
- 六 夫役

##### 第三節 藩の農村政策と百姓の生活

##### 第四節 遠賀川支流の水利事業

- 一 四万余人を動員した五か村用水
- 二 金が浦の暗渠
- 三 庄司川の堀替
- 四 天道・堀池用水の今昔

##### 第五節 村づくり綱分村の地組

- 一 綱分村の地組

- 二 地組の仕組みの嘆願
- 三 地組の実施と方法（二月七日ころ）
- 四 地組の成果と課題

#### 第六節 福岡藩の宗教統制と宗門改め

- 一 仏教
- 二 神道
- 三 宗門改め

#### 第七節 福岡藩の林業と林政

- 一 近世初期の穂波郡の山林
- 二 福岡藩の山
- 三 山方の役人
- 四 寛保から宝暦・明和の山方改革
- 五 江戸中後期の山林
- 六 門松の供出

#### 第八節 農民騒動

- 一 漆生騒動
- 二 樋隈騒動

### 第三章 藩政下嘉麻・穂波郡の交通と諸産業

#### 第一節 北部九州・飯塚周辺の諸街道

- 一 北部九州の諸街道
- 二 飯塚周辺の諸街道

#### 第二節 長崎街道・筑前六宿

- 一 長崎街道・筑前六宿
- 二 筑前六宿の諸制度

#### 第三節 長崎街道筑前六宿筋 飯塚の宿駅・間の宿

- 一 飯塚宿
- 二 飯塚宿跡
- 三 飯塚宿～木屋瀬宿 間の宿片島・幸袋
- 四 飯塚～内野 間の宿 天道・長尾
- 五 内野宿
- 六 内野宿跡
- 七 難所 冷水峠

#### 第四節 江戸期の旅日記・紀行文に見る飯塚地方

#### 第五節 遠賀川水運の展開

- 一 母なる川遠賀川

- 二 遠賀川の水運
- 三 遠賀川の治水対策
- 四 堀川の掘削と完成
- 五 舟運の商品と船賃の変化
- 六 嘉麻・穂波郡村々の津出し
- 七 舟運の変遷
- 八 川筋の船頭かたぎ

#### 第六節 嘉麻・穂波郡の物産と藩の専売制

- 一 江戸期 嘉麻・穂波郡の物産 物資の供給状況
- 二 生蠟・鶏卵・石炭（焚石）仕組による福岡藩の専売制・仕組制度

#### 第七節 諸商業の展開

- 一 飯塚宿と内野宿
- 二 郡方での商売
- 三 運上銀について
- 四 近世後期から幕末期の飯塚の商業

#### 第八節 諸産業の展開

- 一 酒造の制限と緩和について
- 二 福岡藩の酒造
- 三 酒造の営業権
- 四 飯塚の酒造業
- 五 醤油醸造業について
- 六 その他の産業について

#### 第九節 藩政下の焚石（石炭）と郷土

- 一 石炭の発見
- 二 藩の石炭政策

### 第四章 幕藩体制の動揺と嘉麻・穂波郡

#### 第一節 享保の飢饉と嘉穂地方

- 一 享保の飢饉以前の災害
- 二 享保一七年の飢饉
- 三 飢饉の状況
- 四 嘉穂地方の状況
- 五 飢饉後の対策

#### 第二節 宝暦・明和の改革

- 一 享保の飢饉後の藩政改革
- 二 吉田保年の失脚と再勤

- 三 宝暦・明和の改革
- 第三節 文化・文政期の藩政と嘉穂地方
  - 一 相次ぐ藩主の死
  - 二 文化・文政期の嘉穂地方
  - 三 村方騒動
  - 四 農村政策の転換
- 第四節 天保の改革と嘉穂地方
  - 一 改革の前提
  - 二 御家中并郡町浦御救仕組
  - 三 御救仕組と嘉穂地方
  - 四 改革の挫折
- 第五節 幕末・明治維新时期の嘉麻・穂波郡と飯塚
  - 一 幕末の福岡藩の政治動向
  - 二 幕末の太宰府と五卿西遷
  - 三 幕末の秋月藩
  - 四 幕末・明治維新时期の飯塚
- 第六節 幕末の志士の往来と交流
  - 一 飯塚宿・内野宿 冷水峠を歩いた吉田松陰
  - 二 博多往還を往来した野村望東尼
  - 三 幕末の志士の旅日記・紀行文・記録（和歌）

## 第五章 嘉麻・穂波地方の学問と教育

- 一 江戸時代の学問と教育
- 二 嘉穂地方の学問と教育

## 第五編 近現代

### 概説

#### 第一章 明治・大正時代の飯塚

##### 第一節 明治期の行政

- 一 地方行政制度の変遷
- 二 地租改正と徴兵令

##### 第二節 筑前竹槍一揆と飯塚

##### 第三節 交通通信網の整備

- 一 道路
- 二 鉄道網の整備

#### 第四節 明治・大正期の諸産業

- 一 農業
- 二 林業
- 三 諸商業
- 四 金融業・金融機関

#### 第五節 嘉穂郡の教育制度

- 一 明治以降の教育
- 二 初等教育、中等教育の発達

#### 第六節 日清・日露戦争と飯塚

- 一 日清戦争と郷土
- 二 日露戦争と郷土の状況

#### 第七節 大正期の行政

#### 第八節 大正の政変とデモクラシーと郷土

- 一 第一次世界大戦と社会情勢
- 二 大正デモクラシーと郷土

#### 第九節 市街地形成と発展

- 第一〇節 遠賀川の改修工事
- 第一一節 部落解放運動と飯塚
- 一 近代の部落差別と解放令
- 二 水平社の結成と部落解放運動

### 第二章 昭和・平成時代の飯塚

#### 第一節 昭和の始まり

#### 第二節 戦時下の飯塚

#### 第三節 戦後の飯塚

### 第三章 石炭産業の発展と飯塚

#### 第一節 筑豊の石炭産業

- 一 筑豊炭田の概要
- 二 鉱山解放（明治前期）
- 三 動力による排水成功・生産規模の拡大
- 四 大資本の進出（明治二〇年代）
- 五 石炭輸送の転換
- 六 石炭産業の近代化（明治三〇年代以降）
- 七 石炭産業の合理化・増産（大正～昭和前期）
- 八 戦後の復興時代（昭和二〇年代）

## 九 外国炭・石油エネルギーとの競合

### 一〇 石炭産業の衰退・閉山（昭和三〇～四〇年代）

#### 第二節 飯塚市の主な炭鉱

- 一 三菱鯉田炭礦
- 二 三菱飯塚炭礦
- 三 住吉忠隈炭砒
- 四 日鉄二瀬炭鉱
- 五 日鉄嘉穂炭鉱
- 六 麻生芳雄炭鉱
- 七 明治炭鉱
- 八 久恒小正炭鉱

#### 第三節 廃石処理としてのボタ山

- 一 ボタ山の形状
- 二 ボタ山の利用
- 三 ボタ山の管理

#### 第四節 炭鉱の事故と保安

- 一 明治から昭和初期
- 二 戦後から終焉まで

#### 第五節 炭鉱の鉱害と復旧

- 一 石炭採掘に伴う鉱害
- 二 鉱害についての法令
- 三 石炭鉱害の復旧

#### 第六節 炭鉱労働者の生活と納屋制度

- 一 炭鉱労働者の生活
- 二 ヤマの納屋制度

#### 第七節 筑豊の御三家と炭鉱王

- 一 筑豊の御三家
- 二 炭鉱王

#### 第八節 地域文化・教育への貢献

- 一 地域文化への向上
- 二 教育への貢献

#### 第九節 コラム―炭都飯塚物語

- 一 郷土の石炭王伊藤伝右衛門物語
- 二 旧伊藤邸よもやま話

## 第四章 近代化遺産

## 第一節 近代化遺産の定義

## 第二節 筑豊の近代化遺産の概要

- 一 筑豊の近代化遺産の内容
- 二 筑豊の主な近代化遺産の概要

## 第三節 筑豊の主な近代化遺産

- 一 田川地区 三井田川鉱業所関連
- 二 直方地区 直方市石炭記念館関連
- 三 石炭輸送 水運輸送に活躍した運河堀川、川漕、鉄道
- 四 八幡製鐵 世界遺産国内候補

## 第四節 飯塚の近代化遺産

- 一 飯塚の近代化遺産の特徴
- 二 飯塚の主な近代化遺産

## 第五章 資料編